

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	矢野 興一
所属機関名	生物地球学部 生物地球学科
職位	准教授
在籍年	12 年

教育の責任

生物地球学部において、植物園芸学コースの講義、実習、卒業研究を担当している。主な担当科目は、学部 2 年生対象の「植物形態学」や「植物系統分類学」、3 年生対象の「系統地理学」や「植物園芸学実習」などがある。

教育の理念

講義や実習、卒業研究を通じて、物事をよく観察し、なぜそのような現象・構造・機能なのかを学生自らがよく調べ、考え、科学的・論理的に物事を判断しつつ、様々な視点から物事をみることができる力を身につくように指導したいと考えている。また、これらを習得する過程で、円滑な対人関係を結ぶことができるよう日頃から意識させ、他者とのコミュニケーション能力をも養わせ、社会の様々な分野で活躍できる人材を育成したいと考えている。

教育の方法・方針

（方針）

上記の教育の理念を実現のために、学生がまずは物事をよく観察し、植物の形や生態などの自然科学の基礎的知識を身につけた上で、自ら調べて考えることによって、その現象・構造・機能を理解することができるようにする。また、講義や実習を通じて、自らの思考や論理を客観的に捉える力を身につけるようにする。そのため、下記の方法を実施している。

（方針）

- ・講義や実習では、身近な植物を題材として、実物資料や模式的なスケッチを用いて説明することによって、イメージしやすく、観察する力がつくとともに、自然科学の基礎的知識が身につく。
- ・学生は課題内容に沿って、自らの興味がある生物について自ら調べ、まとめ、プレゼンテーションをする。学生が主体的に学ぶ機会を提供することによって、自然科学を理解し、探求する力をつけるとともに、他者へ内容を伝えることを学ぶことができ、コミュニケーション能力が身につく。
- ・プレゼンテーションの評価では、自己採点表を用いて、自己分析をするとともに、他者の発表を聞いて、改善点、工夫点などを自らの発表に取り入れる。これによって客観的に自己分析できる力やコミュニケーション能力を養うことができる。

教育の成果

主な担当講義「植物形態学」「植物系統分類学」「系統地理学」の 2022 年度、2023 年度、2024 年度の過去 3 年間の授業評価アンケートにおける総合評価において、平均して 9 割以上の学生が「満足・ほぼ満足」と回答しており、高い満足度が確認できる。その他、記述欄のコメントでは、分野への知識や理解が深まった・興味をもった・面白かった・植物が好きになった点やプレゼンテーション能力がついた・自主的に考えることができた・今後も学ぶ意欲がわいた点などが挙げられており、講義を通して一定の成果が得られていることが伺える。

今後の目標

コミュニケーション能力や論理的思考を身につけるためには、学生が自ら考えて、興味をもって、主体的に学ぶ姿勢が重要である。そのために、植物学の分野の魅力をこれまで以上に伝えることを目標に、以下のようなことを実践したい。

- ・他者の考えを取り入れ、自身の考えを客観的に捉えるために、ディスカッションやグループワークを積極的に取り入れる。
- ・興味を持ちやすく、よりイメージしやすいように実物資料を用いたり、科学的知識が得られるように最新の研究成果を紹介しながら、植物学の魅力について伝える。

根拠資料

2024 年度授業アンケート結果(mylog)
2023 年度授業アンケート結果(mylog)
2022 年度授業アンケート結果(mylog)